

# 社会福祉法人三島市社会福祉協議会

## 平成 28 年度事業報告書

現在、私たちを取り巻く生活環境は、少子・高齢社会の進展に伴い、地域社会や家庭機能の変化、更に経済情勢の厳しさなどから、社会的孤立の問題、虐待等の権利擁護問題、地域社会のつながりの希薄化など、多くの問題が複雑化し、福祉ニーズも多岐に及んでいます。

こうした新たな課題は、従前の福祉サービスで対応することが困難であり、国においては社会福祉に関するさまざまな制度改革による対応がなされていますが、どの制度においても地域の支え合いを広げて、みんなで受け入れ助け合う地域を広げていく「地域の力」の重要性が示されており、公助だけでなく、共助・自助が求められています。

まさに今、地域の互助をいかに活性化させていくかが求められている中、地域福祉を標榜とする社会福祉協議会にとって、生活課題の解決に向けた活動展開がこれまで以上に必要となり、力量と存在意義が問われることとなります。

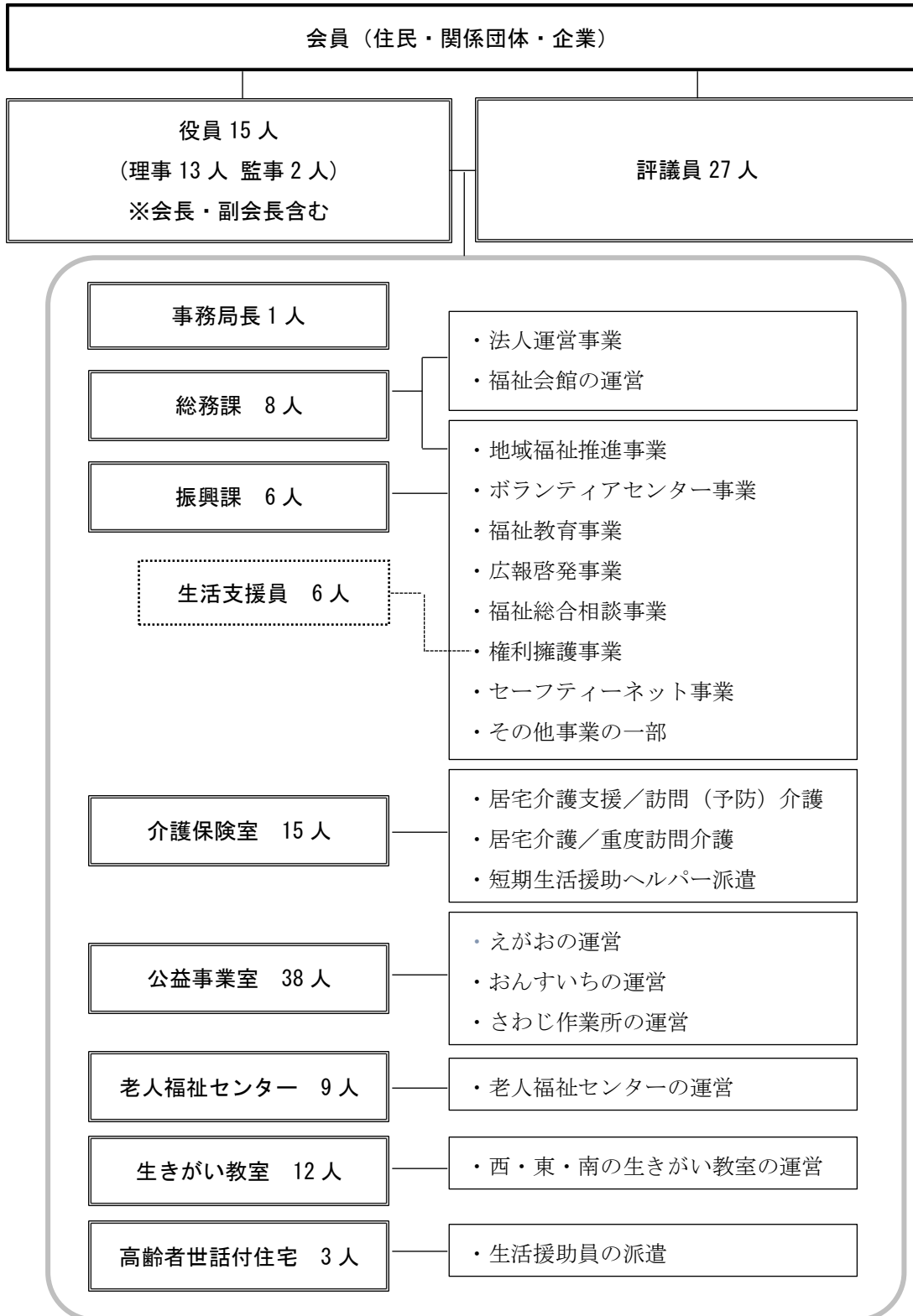
上記を踏まえ、三島市社会福祉協議会では、「ふれあい、支え合い、思いやりの気持ちを実践するまち」を基本理念とし、平成 28 年度の事業計画に重点項目を掲げ、各事業を実施してまいりました。以下、各推進状況等について報告いたします。

### I 重点項目

1	組織体制及び事業枠組みの見直し・検討	該当事業：法人運営事業
2	社協・生活支援活動強化方針の実践	該当事業：地域福祉推進事業
3	地域福祉活動計画の策定 (平成 28 年度～平成 32 年度)	該当事業：地域福祉推進事業
4	地域包括ケアの推進	該当事業：地域福祉推進事業
5	広報啓発事業の充実	該当事業：広報啓発事業

## II 組織構成と事業体型図

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



### Ⅲ 実施事業報告

#### 1 法人運営事業

##### (1) 組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

##### ①理事会の開催状況

開催日	議題等
平成 28 年 5 月 24 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 27 年度事業報告書案について</li><li>・平成 27 年度社会福祉事業資金収支決算認定について</li><li>・平成 27 年度公益事業資金収支決算認定について</li><li>・三島市社会福祉協議会評議員の選任について</li></ul>
平成 28 年 9 月 6 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 28 年度社会福祉事業資金収支補正予算書案について</li><li>・平成 28 年度公益事業資金収支補正予算書案について</li><li>・平成 28 年度三島市社会福祉協議会表彰式における三島市社会福祉協議会会長表彰について</li><li>・三島市社会福祉協議会評議員の選任について</li><li>・平成 28 年度三島市社会福祉協議会表彰式について</li><li>・社会福祉法人制度改革と社会福祉協議会の対応について</li></ul>
平成 28 年 12 月 13 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人三島市社会福祉協議会定款の改正案について</li><li>・平成 28 年度社会福祉事業資金収支補正予算書案について</li><li>・平成 28 年度公益事業資金収支補正予算書案について</li><li>・社会福祉法人三島市社会福祉協議会評議員選任規程の一部を改正する規程案について</li><li>・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程案について</li><li>・社会福祉法人三島市社会福祉協議会個人情報取扱規程案について</li><li>・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所「えがお」運営規程の一部を改正する規程案について</li><li>・社会福祉法人三島市社会福祉協議会評議員選定委員会運営細則について</li><li>・三島市社会福祉協議会評議員の選任について</li><li>・三島市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について</li><li>・社会福祉法人制度改革に伴う新理事、新評議員、新監事等について</li></ul>

<p>平成 29 年 3 月 28 日 (火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会定款の一部改正について</li> <li>・ 平成 28 年度社会福祉事業資金収支補正予算書案について</li> <li>・ 平成 29 年度三島市社会福祉協議会事業計画案について</li> <li>・ 平成 29 年度三島市社会福祉協議会資金収支予算書案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会役職員等の旅費に関する規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会事務専決規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会定款第 12 条第 1 項但し書の規定に基づく会長の専決事項を定める規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会苦情処理解決制度規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会資金運用規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所「おんすいち」運営規程の一部を改正する規程案について</li> <li>・ 工事請負契約の締結について(おんすいち及びさわじ作業所増築工事)</li> <li>・ 三島市社会福祉協議会評議員選定委員会に提案する選任候補者の推薦について</li> </ul>
-------------------------------------	--

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
<p>平成 28 年 5 月 24 日 (火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27 年度事業報告書案について</li> <li>・ 平成 27 年度社会福祉事業資金収支決算認定について</li> <li>・ 平成 27 年度公益事業資金収支決算認定について</li> <li>・ 三島市社会福祉協議会役員の選任について</li> </ul>
<p>平成 28 年 9 月 6 日 (火)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度社会福祉事業資金収支補正予算書案について</li> <li>・ 平成 28 年度公益事業資金収支補正予算書案について</li> <li>・ 平成 28 年度三島市社会福祉協議会表彰式について</li> <li>・ 社会福祉法人制度改革と社会福祉協議会の対応について</li> </ul>

平成 28 年 12 月 13 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会定款の改正案について</li> <li>・ 平成 28 年度社会福祉事業資金収支補正予算書案について</li> <li>・ 平成 28 年度公益事業資金収支補正予算書案について</li> <li>・ 三島市社会福祉協議会役員（理事）の選任について</li> <li>・ 社会福祉法人制度改革に伴う新理事、新評議員、新監事等について</li> </ul>
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人三島市社会福祉協議会定款の一部改正案について</li> <li>・ 平成 28 年度社会福祉事業資金収支補正予算書案について</li> <li>・ 平成 29 年度三島市社会福祉協議会事業計画案について</li> <li>・ 平成 29 年度三島市社会福祉協議会資金収支予算書案について</li> <li>・ 三島市社会福祉協議会役員（理事）の選任について</li> </ul>

### ③監事監査の開催状況

開催日	議題
平成 28 年 5 月 16 日 (月)	平成 27 年度事業及び決算の監査
平成 28 年 11 月 11 日 (金)	平成 28 年度中間監査

### ④評議員選定委員会の開催状況

開催日	議題
平成 29 年 3 月 30 日 (木)	三島市社会福祉協議会評議員の選任について

### ⑤その他会議の開催状況

開催日	会議名／議題
平成 28 年 6 月 7 日 (火)	第 3 次地域福祉活動計画策定会／第 3 次地域福祉活動計画案について
平成 28 年 8 月 25 日 (木)	正・副会長会議／社会福祉協議会会長表彰の被表彰者の選考について

## (2) 会費の状況

区分	当年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
住民会費 (1 世帯 200 円)	39,635 件	6,688,920 円	40,228 件	6,813,940 円
団体会費 (1 口 1,000 円以上)	45 件	88,000 円	48 件	83,000 円
賛助会費 (1 口 1,000 円以上)	216 件	418,000 円	246 件	394,000 円
合計	39,896 件	7,194,920 円	40,522 件	7,290,940 円

(3) 寄附金の状況

区分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
一般寄附金	法人運営拠点区分	23 件	972,890 円	23 件	1,472,795 円
	えがお拠点区分	9 件	343,560 円	28 件	405,863 円
	さわじ作業所拠点区分	6 件	173,000 円	7 件	40,000 円
	おんすいち拠点区分	5 件	118,900 円	4 件	65,417 円
指定寄附金		2 件	1,000,000 円	2 件	1,000,000 円
合計		45 件	2,608,350 円	64 件	2,984,075 円

※指定寄附は、2 件とも三島市福祉協会。

(4) 社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

資金運用積立金は、満期償還による調整額 957 円を積立し 28,648,336 円となったほか、退職給与積立金は 4 名の退職に伴い 17,183,150 円を取り崩し、年度末必要額まで 8,103,110 円を積み立て 61,196,280 円となり、積立金累計額は 772,113,712 円となりました。

基金等種類	前年度末積立金	本年度積立金(上段)	積立金累計額
		本年度取崩額(下段)	
社会福祉振興基金	542,843,383 円	0 円	542,843,383 円
		0 円	
社会福祉整備積立金	136,196,713 円	0 円	136,196,713 円
		0 円	
退職給与積立金	70,276,320 円	8,103,110 円	61,196,280 円
		17,183,150 円	
資金運用積立金	28,647,379 円	957 円	28,648,336 円
		0 円	
施設整備積立金	500,000 円	0 円	500,000 円
		0 円	
車両購入等積立金	2,729,000 円	0 円	2,729,000 円
		0 円	
合計	781,192,795 円	8,104,067 円	772,113,712 円
		17,183,150 円	

## 2 地域福祉推進事業

### (1) 地域福祉活動計画の策定及び周知

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわるために、市町社協が中心となって策定する具体的な活動計画です。

三島市においては、平成 28 年 3 月に「第 3 次三島市地域福祉計画」が策定されました。三島市社協では、この計画との整合を図りながら、第 2 次計画（平成 23 年 3 月策定）の成果や課題を受け継ぎ、多様化するニーズに対応するため、平成 28 年 4 月から平成 33 年 3 月までの 5 か年を計画期間とする「第 3 次地域福祉活動計画」を策定しました。

#### ①第 3 次地域福祉活動計画概要版の発行

発行日：平成 28 年 10 月 1 日（社協だより「はつらつ」へ同封）

発行数：42,700 部（全戸配布）

#### ②会議等での説明

日付	会議等名称
平成 28 年 9 月 2 日（金）	自治会連合会及び民生委員児童委員協議会合同会議
平成 28 年 10 月 7 日（金）	中部地区連合会
平成 28 年 10 月 15 日（土）	北上地区連合会
平成 28 年 10 月 23 日（日）	東部地区連合会
平成 28 年 11 月 22 日（火）	中郷地区連合会
平成 29 年 1 月 12 日（木）	錦田地区連合会
平成 29 年 1 月 19 日（木）	民生委員児童委員協議会更生援護部会
平成 29 年 1 月 24 日（火）	西地区コミュニティ連絡協議会

### (2) 福祉ニーズの把握

高齢者の日常生活における困りごとについて、市内老人クラブやサロン利用者ほか 473 名にアンケート調査を行いました。また、芙蓉台地区及び光ヶ丘地区での福祉実践者講座等の開催にあたり両地区でのアンケート調査を実施したほか、市民すこやかふれあいまつり来場者を対象に社協認知度等の調査を行いました。

#### ①高齢者の日常生活における困りごと調査

対象：市内老人クラブやサロン利用者ほか 473 名（12ヶ所で実施）

内容：「困りごと」と併せて「手伝えること」も調査

項目：買い物、外出時の付き添い、ゴミだし、草取り等庭の手入れ、犬の散歩、

話し相手、裁縫、電球の交換、家具の移動、ストーブ等給油、衣替え、将棋、碁等の対戦相手、掃除、調理、電化製品の使用方法、その他。

順位	困りごと	手伝えること
1	買い物・ゴミ出し	話し相手
2	草取り等・庭木の手入れ	買い物・ゴミ出し
3	電球交換・家具等の移動	草取り等・庭木の手入れ

#### ②芙蓉台地区アンケート調査（※芙蓉台自治会と協働で実施）

対象：芙蓉台地区に担当ケースを持つ福祉関係事業所 12ヶ所

内容：関係事業所が把握する手助けが必要と思われる項目

項目：買い物、通院、庭掃除、ゴミ捨て、電球の交換、大掃除、その他

順位	手助けが必要な項目
1	買い物、通院
2	庭掃除、大掃除
3	電球の交換

対象：芙蓉台地区住民 894 世帯（回収 158 世帯）

内容：日常生活における困りごと

項目：買い物、通院、ごみ出し、電球の交換、話し相手、子育て（送迎含む）、ペットの世話、草木の水やり、その他

順位	手助けが必要な項目
1	買い物、通院
2	ごみ出し
3	電球の交換

#### ③光ヶ丘地区アンケート調査

対象：福祉実践講座受講者 26 名

内容：地域で住み続けていくために、想定される心配なこと

項目：ごみ出し、電球の交換、話し相手、買い物、外出、家具移動、草取り、事務手続き、相談相手、一人の不安、災害・緊急時の対応、その他

順位	想定される心配なこと
1	買い物
2	災害・緊急時の対応
3	電球の交換、一人の不安

#### ④社協認知度等のアンケート調査

対象：ふれあいまつり来場者 187 名



内容：社協や成年後見制度、居場所等に関するアンケート

項目	はい	いいえ	無回答
社協の存在や活動を知っている	150名	36名	1名
成年後見制度について知っている	137名	47名	3名
市民後見人養成講座を受講したい	52名	19名	116名
居場所（サロン）があれば通いたい	161名	19名	7名
どのような居場所（サロン）が理想？※複数回答可 1位/体操・運動 87名 2位/趣味・習い事 83名 3位/誰でも通える 60名			

### （３）小地域福祉活動リーダー等の養成

地域で見守りや声掛け、介護予防、健康づくり体操等を普及できる人材養成を目的とした地域安心サポーター「レインボー」養成講座の開催をはじめ、住民が地域で主体となって地域福祉活動を進めていけるよう福祉の担い手養成に取り組みました。

#### ①地域安心サポーター「レインボー」養成講座

開催日	内容／講師	受講者
平成 28 年 6 月 16 日（木）	地域安心サポーターについてほか 講師：ハハヂカラプロジェクト 河合孝彦 氏	35 名
平成 28 年 6 月 23 日（木）	地域包括ケアシステムほか 講師：北上地区地域包括支援センター センター長 細谷孝一 氏	33 名
平成 28 年 6 月 30 日（木）	地域包括支援センターの役割ほか 講師：錦田地区地域包括支援センター センター長 梅原利光 氏	32 名
平成 28 年 7 月 7 日（木）	認知症について 講師：みしま岡クリニック 院長 岡考 氏	31 名
平成 28 年 7 月 14 日（木）	高齢者の心と体について 講師：機能訓練型デイサービス East-One 代表取締役 野村由希 氏	33 名
平成 28 年 7 月 21 日（木）	権利擁護（虐待・消費者被害）ほか 講師：三島市長寿介護課、市民相談室職員	33 名

#### ②地域安心サポーター「レインボー」交流会

地域安心サポーター「レインボー」の第 1 期生から第 7 期生までを対象に、現在の活動状況や課題について話し合う。今後、改めて登録制度を設け、安心サポ

ーターとして小地域における見守り活動、援助活動を展開し、見守りと助け合いのネットワークの一つとして構成していく。

開催日：平成 29 年 2 月 7 日（火） 参加者：39 名

### ③芙蓉台地区での福祉実践者講座

芙蓉台地区でのニーズ調査結果より、今後必要と思われる住民主体の福祉活動について、先進地区より講師を招き講座を開催。

開催日	内容／講師	参加者
平成 28 年 10 月 30 日（日）	「居場所」の立ち上げ、運営方法など 講師：黒田よりあいサロン 代表 外岡準司 氏	27 名
平成 28 年 11 月 13 日（日）	生活支援サービスについて 講師：磐田市豊岡地区社会福祉協議会 会長 江間彦之 氏	47 名
平成 28 年 12 月 10 日（土）	「居場所」運営者の接遇について 講師：コーティングアカデミー静岡校 校長 酒井美保 氏	34 名

### ④光ヶ丘地区での生活支援サービス勉強会

高齢化率 40%後半、1 人暮らしが多く、傾斜地、県営団地の建て替えに伴う地域の希薄化、認知症高齢者の徘徊があるなど課題が多数ある県営住宅を中心に、光ヶ丘の住民自らが地域について考えていけるよう、北上地区地域包括支援センター、三島市社協、県社協の 3 者合同で勉強会を開催。また、「高齢者の居場所づくりと学生ボランティア」について研究している静岡英和学院大学 3 年生岡部ゼミ生にも本事業に参加してもらった。

開催日	内容／講師	参加者
平成 28 年 11 月 5 日（土）	地域の力を見つめなおす！ 講師：北上地区地域包括支援センター センター長 細谷孝一 氏	12 名
平成 28 年 12 月 3 日（土）	こんな時、あなたならどうします？ 講師：北上地区地域包括支援センター センター長 細谷孝一 氏	14 名
平成 29 年 1 月 15 日（日）	地域のなかの一人としての役割 講師：すずの会（神奈川県川崎市） 代表 鈴木恵子 氏	12 名

#### ⑤移動支援サービス勉強会

ニーズ調査結果より、困りごととして多くあげられた買い物、通院等の移動手段についての取り組み策を検討するため先進地より講師を招き、勉強会を開催。

開催日	内容／講師	参加者
平成 29 年 3 月 4 日（土）	生活に不可欠な移動をどう支えるか 講師：NPO 法人全国移動サービスネットワーク 副理事長 河崎民子 氏	26 名

#### （４）生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

#### ①介護予防・生活支援体制整備推進協議会への参加

日付	内容
平成 28 年 5 月 11 日（木）	三島市、市内 4 包括支援センター、シルバー人材センター、社会福祉協議会、生活支援コーディネーターで構成される会。平成 29 年度よりスタートする介護予防・日常生活支援総合事業について準備を実施。
平成 28 年 7 月 13 日（木）	
平成 28 年 10 月 4 日（火）	
平成 29 年 1 月 24 日（火）	

#### ②地域コミュニティ連絡会への参加

地域の活動団体・社会資源の把握等を目的に下記日程の対象校区へ参加。

日付		対象小学校区
前期	後期	
平成 28 年 5 月 31 日（火）	10 月 14 日（金）	錦田小学校区
平成 28 年 6 月 2 日（木）	11 月 15 日（火）	向山小学校区
平成 28 年 6 月 9 日（木）	10 月 21 日（金）	山田小学校区
平成 28 年 6 月 10 日（金）	10 月 24 日（月）	沢地小学校区
平成 28 年 6 月 3 日（金）	10 月 31 日（月）	南小学校区
平成 28 年 6 月 30 日（木）	11 月 8 日（火）	坂小学校区
平成 28 年 7 月 4 日（月）	11 月 18 日（金）	北小学校区
平成 28 年 7 月 5 日（火）	11 月 22 日（火）	中郷小学校区
平成 28 年 7 月 7 日（木）		西小学校区
平成 28 年 7 月 12 日（火）	12 月 14 日（水）	長伏小学校区
平成 28 年 7 月 19 日（火）	11 月 25 日（金）	徳倉小学校区

平成 28 年 7 月 21 日 (木)	12 月 1 日 (木)	佐野小学校区
平成 28 年 7 月 27 日 (水)	12 月 15 日 (木)	北上小学校区

### ③市内の居場所・サロンの状況（ご登録頂けたサロン等）

民生委員児童委員協議会更生援護部会へ担当地区の居場所・サロン等の資源調査を依頼し、128ヶ所の報告を受ける。これに、長寿介護課より引き継いだリストと健康マップシニア版に記載のあるリスト、社協が把握するサロン等を整理した結果228ヶ所となる。この中から、対象者を制限しない、かつ特定の趣味に偏った内容でなく安価な利用料の居場所・サロンを精査した結果、34ヶ所となり、さらに、この34ヶ所へ登録を呼びかけた結果、27ヶ所のご登録を頂けた。

No.	名称	No.	名称
1	中郷はつらつクラブ(梅名)	15	喜楽会(谷田)
2	コミュニティーカフェ”悠遊”(若松町)	16	サロン松本(松本)
3	コミュニティスペース・ジモット(徳倉)	17	玉沢健康体操”弥生”(玉沢)
4	すずめの会(谷田)	18	初音台夏すみれの会(初音台)
5	介護予防カトレア体操(芙蓉台)	19	旭ヶ丘なかよし体操(旭ヶ丘)
6	南二日町サロン(南二日町)	20	中・福祉会健幸サロン(中)
7	街角サロンたまりばかど(富士ビレッジ)	21	さわやか体操教室(若松町)
8	コミュニティーサロン「ほっとカフェ」(富士ビレッジ)	22	サロン松本(松本)
9	歩歩笑サロン(光ヶ丘)	23	東大場図書カフェ(東大場)
10	山のサロン(大場)	24	芙蓉台居場所(芙蓉台)
11	ひなたぼっこの会(大社町)	25	ひだまりの会(中)
12	コミュニティーカフェ”花笑み”(新谷)	26	木曜サロン(徳倉)
13	すこやかサロン(谷田)	27	三恵会(三恵台)
14	さくらサロン(加茂)		

### (5) 居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続の支援に取り組みました。

#### ①居場所づくりパンフレットの作成

地域の課題から解決方法、居場所がもたらす効果を掲載したパンフレットを作成し、各会議、講座の際に配布。作成部数5,000枚、ボランティア等に配布。

## ②居場所づくり養成講座

「居場所づくり」から「つながりを生む仕掛け」など、居場所づくりのための企画、運営体制などを、必要なノウハウを学ぶ実践講座を開催。

開催日	内容／講師	受講者
平成 28 年 4 月 4 日 (月)	居場所の実際 講師：さわやか福祉財団 稲葉ゆり子 氏	64 名
平成 28 年 5 月 26 日 (木)	どんな居場所を作りたいか 講師：さわやか福祉財団 稲葉ゆり子 氏	67 名
平成 28 年 6 月 13 日 (月)	居場所の運営 講師：さわやか福祉財団 鈴木明与 氏	64 名

## ③居場所見学ツアー

居場所づくり養成講座受講者を対象に、その後の活動をフォローアップするため、先進的な活動を行う居場所の見学会を実施。

実施日：平成 29 年 3 月 16 日 (木) 参加者：21 名

見学先：伊豆市「よってこ駅前」、三島市若松町「悠遊」

## ④居場所・サロン連絡会

生活支援コーディネーター業務で把握した市内 34 ヶ所の居場所・サロンを対象に、各居場所・サロンの連携、情報交換・共有等を図るための連絡会を開催。

また、居場所・サロン運営者のためのマナー研修を中北薬品株式会社マナーインストラクターの協力を得て併せて実施。

開催日：平成 29 年 3 月 17 日 (金) 参加団体：14 団体

## ⑤身近な地域の居場所づくり助成事業

住民が主体となって運営する身近な地域の居場所づくりを行う団体に対し、居場所の開設・運営に必要な備品購入費を助成。

助成先名称	備品名	助成額
木曜サロン(徳倉)	跳ね上げ式テーブル	50,000 円
すこやかサロン(谷田)	ピッコロチェア	50,000 円
コミュニティーカフェ”花笑み”(新谷)	スタッキングテーブル	50,000 円
サロン松本(松本)	楽座椅子、将棋盤ほか	50,000 円
街角サロンたまりばかど(富士ビレッジ)	電子紙芝居一式	50,000 円
コミュニティーサロン「ほっとカフェ」(富士ビレッジ)	ホットプレート、血圧計ほか	50,000 円
合計 6 団体		300,000 円

## ⑥その他

随時寄せられる立ち上げ・運営に関する相談に対応。運営資金等の相談が多いことから、居場所等を対象とした各種助成金情報をまとめ配布。また、各種助成金を受けるには規約が必須となるため、規約モデルを作成し、併せて配布した。

## (6) 住民参加型在宅福祉サービスの準備

制度によるサービスだけでは支えきれない福祉ニーズに対応するため、サービスを利用する人も提供する人も、同じ地域に住む住民同士とした住民主体の地域福祉活動である住民参加型在宅福祉サービスの実施にむけ、既に取り組んでいる伊豆市及び裾野市社会福祉協議会を視察し準備をすすめました。

実施日	視察先	参加者
平成 29 年 1 月 20 日 (金)	伊豆市社会福祉協議会	振興課職員 2 名 芙蓉台自治会役員 2 名
平成 29 年 2 月 3 日 (金)	裾野市社会福祉協議会	振興課職員 2 名 芙蓉台自治会役員 2 名

## 3 ボランティアセンター事業

### (1) ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティアと求める側の関係調整、福祉ニーズに応じた講座の開催、新たなボランティアグループの立ち上げ、社会貢献に取り組む企業の支援などを行いました。

#### ①主なコーディネート内容

- ・市内視覚障がい者を対象とした広報みしま等の点訳・音訳
- ・選挙開票時の点字判読者派遣
- ・録音図書作成時の日本文藝家協会への著作物使用許諾申請
- ・福祉施設等イベント時のボランティア募集及び派遣
- ・ボランティア活動希望者へ活動先の斡旋 ほか

#### ②ボランティア入門講座の開催～ボディーケアフィット編～

「ボランティア入門講座～ボディーケアフィット編」をボランティア活動へのきっかけづくりとして実施。今回、居場所・サロン運営者より介護予防体操の担い手不足が課題として挙げられる中、この課題に対応できる人材育成に特化した内容とし、講座終了後、市内居場所へ受講者を派遣。

開催日：平成 29 年 2 月 6 日～8 日の 3 日間 受講者：23 名

講師：機能訓練型デイサービス East-One 代表取締役 野村由希 氏

### ③将棋ボランティア「一七の会」

地域で生活している高齢者等と将棋の対戦相手をするボランティアとして平成 27 年 11 月 17 日に立ち上げ。以降、当会にて活動のコーディネートを行う。

平成 28 年度は、従来の活動のほか、世代間交流を含めた将棋教室を開催。

活動回数：101 回 活動先：市内高齢者宅、福祉施設ほか

将棋教室	開催日		参加者
	平成 28 年 8 月 4 日 (木)		12 名
	平成 29 年 1 月 8 日 (日)		11 名
	平成 29 年 3 月 26 日 (日)		6 名

### ④ゲートキーパー養成講座

精神保健福祉のボランティアの育成を行い、住民主体による精神保健福祉関連の活動を広げ、見守りネットワークの一つとして発展させていくことを目的に、カウンセリングの基礎的な手法を紹介しながら、ゲートキーパーの役割や声掛けの方法を学ぶ講座を開催。

開催日：平成 28 年 8 月 1 日 (月) 受講者：46 名

講師：NPO 法人静岡こころのサポートセンター 理事長 丹澤潔 氏

### ⑤60 代からの手紙講座～万年筆編～

社会貢献に取り組む企業の支援として、株式会社パイロットコーポレーションとのコラボ事業を実施。高齢者の余暇支援、人とつながるきっかけづくりを目的に、万年筆で書いた手紙を他市町の 60 歳以上の方とやりとりする全 3 回の講座。

開催日：平成 28 年 10 月 17 日、24 日、31 日の 3 日間 参加者：10 名

### ⑥車椅子整備・清掃活動

AIR オートクラブ静岡支部より社会貢献活動の申し出を受け、当会が住民に貸し出している車椅子の整備（タイヤ交換、ネジ・ブレーキ調整等）・清掃活動を実施。 実施日：平成 28 年 9 月 13 日 (火)

### ⑦三島市ボランティア連絡協議会の事務局

ボランティア活動の推進、会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される約 100 名の組織。この事務局を担い、研修会の開催、施設行事の手伝い等を行う。また、年間の活動費として助成金 150,000 円を交付。

## (2) ボランティアの登録状況

効果的な情報発信やボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受け付けを行いました。

登録グループ数 73 件、個人登録 69 名。(平成 29 年 3 月 31 日現在)

活動内容		登録数
グループ	高齢者に関わる活動	12 件
	障害者等に関わる活動	11 件
	児童、子育てに関わる活動	16 件
	災害時に関わる活動	6 件
	環境に関わる活動	14 件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	8 件
	その他の活動	6 件
合計		73 件
個人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	69 名

## (3) ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内容	加入数	保険料総額
ボランティア活動保険	ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を補償	1,156 名	392,640 円
ボランティア行事用保険	地域福祉活動等の行事における主催者や参加者のケガ等を補償	223 行事	241,322 円
福祉サービス総合補償	在宅・地域福祉サービス中の活動従事者のケガや団体・グループの賠償責任を補償	4 団体	213,474 円

※上記加入者への事故対応 6 件

## (4) ボランティアグループ事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動について、必要な経費の一部を補助しました。

グループ名	事業名	補助額
ガールスカウト三島地区連絡協議会	一日スカウト体験	22,000 円
三島手話サークルよつば友の会	夏休み手話教室	20,000 円
ハートフルケアとまり木	認知症介護者の為のセミナー	100,000 円



介護予防かたレア体操	介護予防体操の実施と普及	54,000 円
三島市民生委員児童委員協議会	広報紙「ぬくもり」作成・発行	100,000 円
三島ジュニアリーダーズクラブすくえあ	なかよし合宿事業	22,000 円
三島市更生保護女性会	更生・矯正施設への訪問	17,000 円
ボーイスカウト三島地区	児童青少年の健全育成	50,000 円
三島市人権擁護委員会	人権意識の普及	18,000 円
恵の会	福祉施設訪問活動	20,000 円
アイ・あい	視覚障がい者への情報提供	30,000 円
バラエティ笑劇団	福祉施設訪問活動	10,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	災害VCの実践力強化	90,000 円
初音台夏すみれの会	サロン活動	30,000 円
合計 14 団体		583,000 円

#### (5) 災害ボランティアの振興

「三島市地域防災計画」において、災害時には、市と社会福祉協議会が連携して、災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティア本部を設置することになっています。この災害ボランティア本部の円滑な運営と的確な被災者支援を図るために、各種事業に取り組みました。

##### ①災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時のボランティア活動が円滑に行われるよう、ボランティアの受入れや活動先の調整など、災害ボランティア活動の中核的な役割を担う「災害ボランティアコーディネーター」の養成を目的に開催。

開催日：平成 28 年 11 月 26 日（土）、27 日（日） 受講者：20 名

講師：静岡県危機管理局、三島市危機管理課、三島市社協職員ほか

##### ②災害ボランティア本部立ち上げに関する研修会

平成 27 年に作成した災害ボランティア本部立上運営マニュアルの内容を検証する為、災害ボランティアコーディネーター等と共に研修会を開催。

開催日：平成 29 年 3 月 11 日（土） 参加者：40 名

講師：三島市社協職員

## 4 福祉教育事業

### (1) 講師連絡会の発足・開催

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティアに講師としてご登録いただき、福祉教育プログラム等の検討を行う講師連絡会を発足しました。

①講師連絡会構成員

構成員	人数
視覚障がい者（盲導犬ユーザー）	1名
聴覚障がい者（手話講師）	1名
ボランティア活動者（点字ボランティア）	1名
ボランティア活動者（要約筆記サークル）	1名
合計	4名

②講師連絡会開催状況

開催日	協議事項
平成 29 年 3 月 24 日（金）	福祉教育のねらい、講義内容の確認、講師謝礼、福祉教育メニューについて

(2) 福祉啓発の実施

福祉啓発プログラムの一環として学校及び企業において福祉啓発講座・教室を実施しました。

開催日	内容	対象
平成 28 年 11 月 9 日（水）	視覚障がい及び盲導犬について 講師：杉山典行 氏	北小学校 3 年生 120 名
平成 28 年 11 月 22 日（火）	手話及び点字について 講師：中川みゆき 氏 講師：すぎなの会	北小学校 3 年生 120 名
平成 28 年 11 月 25 日（金）	車椅子介助及び視覚障がい者誘導方法について 講師：杉山典行 氏	山田小学校 4 年生 68 名
平成 28 年 12 月 8 日（木）	バリアフリー教室 ※中部運輸局静岡運輸支局と共催。 社協職員は、視覚障がい者の誘導方法、車椅子の介助方法を担当。	向山小学校 4 年生 112 名
平成 28 年 12 月 26 日（月）	点字の復習 講師：すぎなの会	北小学校 3 年生ほ か 14 名
平成 29 年 1 月 21 日（土）	認知症について 講師：三島市社協職員	市内新聞店 25 名

## 5 広報啓発事業

### (1) 社協だより「はつらつ」の発行

社協の事業活動の紹介や福祉関係情報などを住民に周知する広報紙として、関係機関との情報面での連携を図り、福祉情報を効果的に提供できるよう年5回(5月/No.85、7月/No.86、10月/No.87、12月/No.88、2月/No.89)発行しました。

### (2) ホームページの運営

ホームページをリニューアルし、本会の事業活動及びサービス、各種福祉情報等を広く紹介すると共に、本会への理解をより深めていただけるように努めました。

### (3) 社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識の高揚を図りました。また、併せてより多くの住民に、福祉について考え理解してもらおうきっかけづくりとして、フリーアナウンサー寺田理恵子氏を迎え、記念講演「親が認知症になった時」を実施しました。

開催日：平成28年10月24日(月) 会場：三島市民文化会館小ホール

被表彰者：三島市社会福祉協議会会長表彰38名・1団体

### (4) 児童福祉月間、老人福祉月間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童・高齢者福祉の理念の普及・啓発の為、市内各所にポスターを掲示しました。また、三島市が実施する障がい者週間への協力として、市内各所にのぼり旗を設置しました。

## 6 福祉総合相談事業

### (1) 相談事業の実施状況

住民の暮らしの中のあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に本事業を実施しました。

区分	件数	区分	件数
生計	233件	財産	16件
年金	4件	事故	0件
職業・生業	20件	児童	14件
住宅	3件	教育・青少年	6件
家族	22件	障がい者	91件
結婚・離婚	5件	母子・父子	27件

ボランティア	57件	高齢者	116件
健康・衛生	5件	苦情	1件
医療	51件	日常生活自立支援事業	67件
精神保健	47件	成年後見制度	42件
人権・法律	23件	その他	10件
合計 860件			

## 7 権利擁護事業

### (1) 日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行いました。

#### ①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合計
29件	899件	928件

#### 【主な相談援助内容】

- ・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い
- ・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助
- ・大切な書類や印鑑等の保管 ほか

#### ②契約件数等の内訳

区分	新規申請	決定	却下	解約	契約
認定症高齢者	9件	6件	3件	5件	8件
知的障がい者	1件	1件	0件	1件	5件
精神障がい者	1件	1件	0件	0件	1件
その他	0件	0件	0件	0件	0件
合計	11件	8件	3件	6件	14件

- ・却下案件は、成年後見制度の利用支援を実施
- ・解約理由は、死亡4件、施設・病院入所1件、成年後見制度移行1件
- ・契約件数は、平成29年3月31日現在

#### ③生活支援員の配置

契約内容にそって、定期的に訪問する生活支援員を6名配置。また、生活支援員の資質向上と支援における悩み等に応じるため研修会を実施。

開催日	内容
平成 29 年 2 月 27 日 (月)	個別ケースが抱える課題等についての協議及び研修として認知症サポーター養成講座の実施。 講師：三島市社協職員（キャラバンメイト）

## (2) 成年後見制度に関する取り組み

成年後見制度は、精神上の障がい等により判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付けてもらう制度です。本制度について、より住民へ認知してもらう為、広報・啓発活動を行うほか、三島市社協として平成 29 年度から法人後見を受けられるよう準備を行いました。

### 【啓発講座開催状況】

開催日	対象
平成 28 年 4 月 14 日 (木)	三島市民生委員児童委員更生援護部会

## 8 セーフティーネット事業

### (1) 生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯または高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

#### ①相談活動状況

項目	件数
貸付相談	163 件
償還相談	51 件
その他、経済的等生活困窮に係る相談	25 件
訪問状況	0 件
民生委員との連絡調整	18 件
連携（連絡調整）した機関 ※福祉事務所、ハローワークほか	99 件
合計	356 件

#### ②貸付件数

項目	件数	貸付額	備考
福祉資金	2 件	651,000 円	技能習得、転宅費
教育支援資金	0 件	0 円	

不動産担保型生活資金	0件	0円	
緊急小口資金	4件	210,000円	初回給料までのつなぎ
総合支援資金	0件	0円	
臨時特例つなぎ資金	0件	0円	
合計	6件	861,000円	

## (2) 生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方々への支援として、年1回10,000円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくににより取り寄せた食糧や住民からいただいた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援
22件（交付総額220,000円）	111件

## (3) 歳末見舞金の贈呈

年末年始に経済的に支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の善意から成り立つ歳末たすけあい募金を活用し、民生委員・児童委員の協力を得て見舞金を贈呈しました。

世帯数							世帯数 計	贈呈総額
1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人		
22件	43件	37件	24件	13件	1件	1件	141件	1,632,000円

・見舞金は1人世帯8,000円、世帯内に1人増えるごとに2,000円増

## 9 指定事業所の運営

### (1) 介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」「訪問介護（予防訪問介護）」のサービスを、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

#### ①従事者数内訳（平成29年3月31日現在）

職種	常勤	非常勤	登録	計
介護支援専門員	2名	2名	0名	4名
ホームヘルパー	2名	8名	1名	11名
合計	4名	10名	1名	15名

②介護保険事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	397 件	18,632,818 円	1,916,259 円	20,549,077 円
訪問(公費分)	36 件	302,550 円	0 円	302,550 円
予防訪問介護	384 件	8,095,096 円	870,347 円	8,965,443 円
予防(公費分)	71 件	137,517 円	0 円	137,517 円
居宅介護支援	859 件	9,929,797 円	0 円	9,929,797 円
予防計画作成	302 件	1,317,000 円	0 円	1,317,000 円
合計	2,049 件	38,414,778 円	2,786,606 円	41,201,384 円

③障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	299 件	13,717,662 円	189,957 円	13,907,619 円
重度訪問介護	0 件	0 円	0 円	0 円
合計	299 件	13,717,662 円	189,957 円	13,907,619 円

(2) 障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努め、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所及び就労継続B型事業を運営しました。

①運営施設の概要

ア. 指定生活介護事業所えがお (所在地: 新谷 190-20 定員: 40 名)

作業内容	自主作業	クッキー・パウンドケーキ作り、ジャム作り、着物リサイクル、アルミ缶・古紙リサイクル、廃油リサイクル、作物栽培、縫製品、紙すき、ビーズ作業
	下請作業	ウッドチャーム型抜き、折り紙
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
	その他	プール、クリスマス会、宿泊訓練、防災訓練、他施設・学校等の交流会、希望外出、地域イベント参加、音楽療法、園芸療法、運動療法、地域清掃、ボランティア交流会ほか

イ. 指定就労継続支援B型事業所さわじ作業所 (所在地: 沢地 246-11 定員: 20 名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品 (黄色いハンカチ)、リサイクル作業 (古紙・アルミ缶・銅線)、レーザー加工製品、缶バッジ、清掃業務 (体育館・保健センター)、共同店舗運営、UVプリント加工
	下請作業	押し刺し、しおり作り、パッケージ加工、バンド巻、ウッドチャーム加工
生活指導内容	就労訓練	基本生活習慣 (食事・排泄・歯磨き・着脱等) の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
	その他	機能訓練、ボランティア交流会、防災訓練、宿泊訓練、自主活動、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流

ウ. 指定生活介護事業所おんすいち (所在地: 富田町 3-19 定員: 20 名)

作業内容	自主作業	ビーズ製品 (ネックレス・ブレスレット・携帯ストラップ)、野菜作り、縫製品、リサイクル回収、クッキー・ジャム作り
	下請作業	
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣 (食事・排泄・歯磨き・着脱等) の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上 (スポーツ、プール、歩行訓練等) ほか
	その他	防災訓練、工場見学、宿泊訓練、買い物訓練、希望外出、手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
20 歳未満	1 名	1 名	2 名	0 名	0 名	0 名	4 名
20～29 歳	8 名	8 名	3 名	3 名	5 名	9 名	36 名
30～39 歳	2 名	5 名	3 名	3 名	6 名	1 名	20 名
40～49 歳	5 名	4 名	3 名	4 名	3 名	0 名	19 名
50～59 歳	3 名	3 名	2 名	0 名	0 名	0 名	8 名
60 歳以上	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名
合計	20 名	21 名	13 名	10 名	14 名	10 名	88 名
	41 名		23 名		24 名		



③障がい別利用者数（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
知的障がい	6 名	10 名	11 名	10 名	12 名	6 名	55 名
身体障がい	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名
重複障がい	13 名	11 名	1 名	0 名	2 名	4 名	31 名
合計	20 名	21 名	13 名	10 名	14 名	10 名	88 名

④開所日数及び利用者数

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち	
	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
4 月	19 日	42 名	19 日	22 名	19 日	24 名
5 月	19 日	42 名	19 日	21 名	19 日	24 名
6 月	22 日	42 名	23 日	20 名	22 日	24 名
7 月	20 日	42 名	20 日	21 名	20 日	24 名
8 月	21 日	41 名	22 日	23 名	21 日	24 名
9 月	20 日	41 名	20 日	22 名	20 日	24 名
10 月	20 日	40 名	20 日	23 名	20 日	24 名
11 月	20 日	40 名	20 日	23 名	20 日	24 名
12 月	18 日	40 名	20 日	23 名	18 日	24 名
1 月	19 日	40 名	19 日	22 名	19 日	24 名
2 月	20 日	40 名	20 日	22 名	20 日	24 名
3 月	21 日	41 名	21 日	23 名	21 日	24 名
合計	239 日	491 名	243 日	265 名	239 日	288 名

⑤利用者工賃概要

区分	当年度		前年度	
	総額	1 人当たり/月	総額	1 人当たり/月
えがお	2,622,775 円	5,319 円	2,277,668 円	4,745 円
さわじ作業所	4,862,892 円	20,762 円	4,957,347 円	22,485 円
おんすいち	970,612 円	3,370 円	991,393 円	3,442 円

## ⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	491 件	83,452,068 円
さわじ作業所	就労継続支援 B 型(通所)	271 件	39,496,486 円
おんすいち	生活介護(通所)	288 件	37,757,474 円
合計		1,050 件	160,706,028 円

## 10 受託施設の運営

### (1) 社会福祉会館の運営（指定管理者）

社会福祉会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深め、その育成発展を図るため昭和 49 年 7 月に建設されました。この管理運営を三島市から指定管理者として受託し、福祉活動の場を提供し市民の活動拠点として有効に活用していただきました。

#### ①開館日数及び年間利用の状況

- ・開館日数 344 日 1 日平均 75.4 人

利用種別	利用回数	利用人数
民生委員関係	100 回	1,320 人
身体障がい者関係	540 回	8,818 人
老人福祉関係	168 回	3,784 人
児童福祉関係	27 回	891 人
更生保護関係	78 回	1,594 人
社会福祉協議会関係	327 回	3,364 人
その他	255 回	6,232 人
合計	1,495 回	25,958 人

#### ②4 階大会議室の横断看板とスクリーンの整備

4 階大会議室の横断看板が老朽化し、会館利用者へ支障をきたしていた為、新たな横断看板を整備した。併せて、利便を図るためプロジェクター用スクリーンを整備した。

### (2) 老人福祉センターの運営（指定管理者）

平成 18 年度から老人福祉センターの管理運営の指定管理者となり、施設の適切な管理と運営に努めてきました。老人クラブとの連携協力のもと、各種講座・教室等を開催し高齢者の健康増進、教養の向上・リクレーションの場として次のように利用してまいりました。

①開館日数及び年間利用の状況

- ・開館日数 292 日 1 日平均 243 人

団体利用者	個人利用者	合計
8,762 人	62,286 人	71,048 人

②事業・講座等

名称	実施回数	受講・利用者数
防犯教室	7 回	749 人
交通安全教室	6 回	621 人
救急救命講座	7 回	780 人
火災予防講座	7 回	762 人
転倒防止講座	7 回	750 人
音楽教室	6 回	635 人
遺言講座	1 回	119 人
世代間交流会	2 回	245 人
健康サロン	81 回	1,847 人
指ヨガ教室	6 回	626 人
認知症予防講座	7 回	728 人
食育健康講座	4 回	385 人
クラブ活動／社交ダンス	23 回	303 人
クラブ活動／習字	24 回	377 人
クラブ活動／踊り	12 回	24 人
クラブ活動／大正琴	9 回	20 人
その他 健康相談者数		2,097 人
合計	209 回	11,068 人

1 1 その他の事業

(1) 三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年の社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに伴い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

平成 28 年度実績額	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
	8,039,884 円	2,553,341 円

## (2) 助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事業名	助成額
三島市小中学校連 合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の 助成(小学校6年生54件 6,000円/件)	324,000円
三島市中学校 修学旅行団	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の 助成(中学校3年生61件 8,000円/件)	488,000円
三島市子ども会 連合会	子どもカップ中央球技大会	100,000円
	子ども会フェスティバル	63,000円
	アウトリーダー講習会	100,000円
三島地区保護司会	社会を明るくする運動	160,000円
三島市民間社会福 祉施設協議会	民間社会福祉施設職員の質の向上	225,000円
三島市民生委員児 童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000円
三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000円
合計 7団体		1,952,000円

## (3) 福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸し出し

在宅の外出困難な高齢者及び障がい者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、日常生活の向上を図ることを目的に実施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出	介護補聴器貸出
60件	147件	1件

## (4) 障がい者スポーツ大会参加支援

市内の障がい者支援事業所及び関係団体の会員が参加する三島市との共催事業において、本会の事業所の参加はもとより、参加推進を図るべくバス2台を借り上げ、会場まで巡回バスを往復1回運行しました。

## (5) 生きがい教室の運営

市の委託を受け、市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室3箇所にて「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供することにより、社会的孤立感の解消・自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図るため各種サービスを提供しました。

①利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	224 日	227 日	225 日	676 日
延べ利用者数	5,953 人	7,249 人	6,424 人	19,626 人
平均利用者数	26.6 人/日	31.9 人/日	28.6 人/日	29.0 人/日

②介護予防普及啓発事業の実施

実施場所	回数	参加者	内 容
西小 生きがい教室	12 回	196 人	3 B 体操／インストラクターの指導により楽しみながらストレッチ及び体操を行ない介護予防に努めた。
東小 生きがい教室	12 回	439 人	健康表現体操／ストレッチ、筋力トレーニング、気功、表現体操などの運動要素を取入れ、体力の維持・増進を図った。
南小 生きがい教室	12 回	142 人	音楽療法／歌唱や楽器演奏を通して、精神的・心理的な効果を得ることにより心身の健康維持と向上を図った。

(6) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅A棟で実施している「高齢者世話付住宅(平成28年3月1日現在16世帯17名居住)」に対して、3名の生活援助員を派遣し、2交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。

(7) 実習生の受け入れ

実習指導者に必要な関連知識、実習指導の意義、実習指導者としての在り方と指導方法について養成を受けた職員を配置し、社会福祉士等を目指す実習生を積極的に受け入れ、次代の福祉を担う人材育成に協力しました。

受入期間	実習生
平成28年8月1日～9月9日(24日間)	日本福祉教育専門学校 生徒1名